

- 長期ビジョンのうち、計画期間が令和6年度末までとなっている「実行プラン」および「地域プラン」を改訂
- 併せて、「第2期ふくい創生・人口減少対策戦略」の見直し作業を一体的に行い、次期戦略を策定

◆改訂等の概要

（1）長期ビジョン改訂の範囲

構成	期間	改訂方針
第1部 将来構想	2020～2040年	改訂なし
第2部 実行プラン	2020～2024年度	改訂
第3部 地域プラン	2020～2024年度	改訂

※実行プラン等の改訂と合わせて、
次期「ふくい創生・人口減少対策戦略」も策定

（2）次期計画期間

令和7年度～令和11年度（5年間）

◆意見集約および策定スケジュール

- ・有識者等による「長期ビジョン推進懇話会」を開催
- ・徹底現場主義のもと、世代別や地域別、分野別など、多くの県民との意見交換を行い、多様な意見を聴取

6月～

・長期ビジョンに掲げる将来像の実現や人口減少社会への対応について、県内全域で意見交換

- ◆ 市町別 各市町に出向き、住民代表者等と意見交換
- ◆ 世代別 学生、新社会人、子育て世代などと意見交換
- ◆ 分野別 産業、観光、医療、福祉、農業など個別分野の団体等と意見交換
- ◆ 出前講座 学校や企業等でのワークショップ
- ◆ 特別セミナーの開催
- ◆ 県民アンケートの実施 など

8月頃～

・次期計画の方向性まとめ（9月議会）
・骨子案を作成（12月議会）

1月～

・パブリックコメントの実施
・次期計画案の作成、議案提出（2月議会）

◆「国内・県内の環境変化・見通し」の現状と今後

（1）人口減少

○ 2040年の県内推計人口は63.9万人（2018年推計より▲8千人）

- ・若い世代の県外流出や未婚率上昇により、婚姻数・出生数は減少傾向
- ・若い世代ほど「子育てが大変」というイメージを持ち、婚姻意欲にも影響

⇒若い世代や女性が、仕事や結婚・子育てにポジティブになり、将来の明るい展望を描けることが重要ではないか

（2）長寿命化

○ 平均寿命や健康寿命が延伸しており、高齢者有業率も上昇

- ・平均寿命、健康寿命ともに延伸しているが、全国順位は下降傾向
- ・高齢者（65歳以上）の有業率は30.9%（2022年）となり、シニア世代が活躍

⇒地域における医療と介護の連携や介護予防等を進め、健康長寿の推進や元気なシニア世代の活躍応援が重要ではないか

（3）大交流化

○ 北陸新幹線福井・敦賀開業など、高速交通網の整備が進展

- ・北陸新幹線 2024年 福井・敦賀開業
- ・舞鶴若狭自動車道の一部区間で4車線化事業が進行しているほか、中部縦貫自動車道は2026年春に県内全線開通予定

⇒モノや人の交流を活発化し、さらなる投資やプレイヤーを呼び込みながら、新幹線効果を持続化することが重要ではないか

（4）技術革新

○ デジタル技術の活用により生産性や利便性が向上

- ・テレワークによる場所を選ばない働き方や、キャッシュレス決済が拡大
- ・農業や医療、教育など幅広い分野で自動化や遠隔化が進展

⇒先進技術を有する事業者や人材と連携し、暮らしの質を向上させるとともに、産業のイノベーションを誘発して経済成長につなげることが重要ではないか

（5）価値観の進化

○ インクルーシブ社会の形成に向けて制度面の整備が進展

- ・外国人住民が年々増加（15,235人（2019）→16,756人（2023））
- ・事業者による障がいのある方への合理的配慮の提供義務化や、パートナーシップ宣誓制度の導入

⇒若者の価値観や、国籍・性別などに捉われない多様性を尊重する地域の寛容性を高め、一人ひとりの幸せ実感を高めることが重要ではないか